

令和8年6月14日発行



益田翔陽高等学校同窓会

No.18

発行

島根県立益田翔陽高等学校同窓会

事務局

赤陵会館内

益田市あけぼの東町13-1

TEL 0856-23-1619

FAX 0856-25-7044

HP <http://shoyo.info/>

会報

令和8年度 第18回 益田翔陽高校同窓会定例総会

【同窓会会長挨拶】

「第18回定例総会を迎え 更なる飛躍の年へ」

同窓会会長 大畑 正一



『再会満開』
～思い出が再び色づくとき～

青葉若葉を渡る風に、過行く春が惜しまれる頃となりましたが同窓会員の皆様には日々ご健勝の事とお慶び申し上げます。益田翔陽高等学校同窓会員の皆様におかれましては、平素より同窓会活動に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、令和7年度第17回益田翔陽高等学校同窓会定例総会及び祝賀会は、当年45歳の実行委員21名により、令和7年3月25日の第1回実行委員会を皮切りに、計5回にわたる実行委員会を重ね、周到な準備のもと、令和7年6月8日、サンパレス益田を会場として開催されました。

当日は、定例総会にご臨席を賜りましたご来賓並びに会員を含め66名、祝賀会には18名という多くの皆様にご出席を賜り、盛会裏のうちに執り行うことが出来ました。ご多用の中ご臨席いただきましたご来賓の皆様、並びにご参加いただきました会員の皆様のご支援とご協力により、総会は滞りなく進行され、祝賀会においては世代を超えた交流が図られ、和やかな雰囲気の中で旧交を温める大変有意義なひと時となりました。

第17回の定例総会は、「ご縁は世代を超えて・・・出会いと感謝と喜びを」をスローガンに掲げて、世代を超えた同窓生が一堂に会し、新たな出会いと再会の喜びを分かち合うとともに、これまで育まれてきたご縁への感謝を改めて実感する機会となりました。同窓会の原点である人と人との繋がり、の尊重を再認識し、今後の同窓会活動のさらなる発展に向けた大きな力となる総会となりました。

総会におきましては、同窓会規約の改定ならびに役員選挙委員会規約の改定について慎重に審議が行われ、いまだも原案どおり承認されました。また、任期満了に伴う役員および理事の選任が行われ、新たな体制のもとで同窓会運営がスタートすることとなりました。会員の皆様のご理解とご協力により、すべての議案が円滑に進めら

れました事に對し、深く感謝申し上げます。

また、その後関西支部におきましては、設立15周年という記念すべき節目を迎えられ、令和7年9月7日(日)午前11時より、ホテルヴィスオニ崎において関西支部総会が開行されました。当日は、多くの同窓生の皆様に参加され、設立以来の歩みを振り返るとともに、同窓生相互の親睦を深める大変意義深い機会となりました。総会には、関係各深の尽力により盛会裏のうちに執り行われ、関西の地における同窓生の強い絆と母校への変わらぬ思いを改めて実感いたしました。また令和8年2月27日には12名の初々しい皆さんをお迎えし令和7年度同窓会入会式を行う事が出来ました。

その後、令和8年4月9日には入会式が執り行われ106名の生徒の皆さんをお迎えしました。そして本年度より着任された長谷川哲明校長よりご祝辞を頂きました。

このように、本年度も実行委員の皆様をはじめ、各支部役員ならびに多くの会員の皆様のご尽力により、同窓会活動を充実したものとすることができました。これもひとえに、同窓会を支えてくださっているすべての皆様のご支援とご協力の賜物であり、心より敬意と感謝を申し上げます。

そして今年度の実行委員会では6月14日(日)の令和8年度同窓会定例総会に向けメインスローガン「再会満開」サブスローガン「～思い出が再び色づくとき～」と掲げ現在準備を進めている所で御座います。

また本年は益田翔陽高校の創立20周年記念式典を5月8日(金)にグラントワで開催することとなっております。多くのご来賓をお迎えし全校生徒や職員の皆さん、同窓会の皆さんと一緒に記念式典を挙げることに、記念公演には本校の校歌の作詞者であり益田市名誉市民である田淵久美子さんに演題「君だけの道」としてご講演をいただくことになっております。

今後も、同窓生相互の親睦を深めるとともに、母校のさらなる発展を支える同窓会として、より一層充実した活動に努めてまいりますので、引き続き会員の皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、令和7年度を振り返ってのご挨拶といたします。

(1) 転出者・退職者				(2) 転入者・新任者			
職名	氏名	転出先		職名	氏名	前任校	
校長	堀農公良	山岡二三男安来		校長	数学	長谷川哲明	益田
教頭	農業	城市直貞退職		教頭	電気	糸賀澄人	松江工業
教諭	農学	多田久和優佑退職		教諭	理科	松田巧輝	新賀
教諭	数学	椋木達彦退職		教諭	数学	西田利治	吉賀
教諭	電気	田口栄治	松江工業	教諭	電気	山本浩司	江津工業
教諭	電気	上黒光一退職		教諭	電気	山本浩司	江津工業
実教	電気	岩田宏己	江津工業	実教	電気	岩田泰典	江津工業
実教	農業	三島大和	出雲農林	実教	農業	高橋知広	出雲農林
講師	農業	横山孝三退職		講師	農業	重本和宏	山口県から
実教	農業	小山光博	出雲農林	実教	農業	石川敦司	新賀
事務	事務	藤原健司	益田養護	事務	事務	山本清孝	益田保健所
事務	事務	大畑弘斗	教育事務所	事務	事務	山口蓮華	新規

創立二十周年を迎えて

「伝統を礎に・新たな未来へ挑戦する」

益田翔陽高等学校 校長 長谷川 哲明



若葉が眩しい輝き、清々しい風が益田の大地を渡る季節となりました。益田農林高校、益田工業高校、益田産業高校、益田翔陽高校の同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し温かいご支援とご理解を賜り、厚くお礼申し上げます。私はこの春、益田翔陽高等学校に着任いたしました。創立20周年という輝かしい節目に立ち会えますことを大変光栄に存じますとともに、その歴史の重みに身の引き締まる思いでございします。どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度、本校は電子機械科21名、電気科26名、生物環境工学科30名、総合学科29名の計106名の新入生を迎え、331名で新たな活気とともにスタートいたしました。新入生を加えた生徒一人ひとりが、本校での学びを通して成長し、それぞれの進路実現へ向けて力強く歩みを進めております。

さて、本校は本年度、創立20周年という大きな節目を迎えました。5月8日には、島根県芸術文化センター「グランドタワー」において創立20周年記念式典を挙行了いたしました。当日は島根県教育委員会教育長様、益田市市長様をはじめ多くのご来賓並びに関係者の皆様に臨席を賜り、在校生・保護者・同窓会・翔陽会・地域の皆様とともに盛

将来出会う自分に感謝されるような今を

益田翔陽高等学校 教頭 糸賀 澄人



本校は昨年度末に創立から20年の時を経て、今年度5月8日に20周年記念式典

を挙行させていただきました。創立時、幸いにも益田翔陽高校の一期生の担任という大変貴重な経験をさせていただきました。とにかくがむしやに目の

前の生徒の未来のため、また翔陽高校の将来のために日々を過ごしたのを今でも時折思い出します。縁あってこの4月より再び本校に勤務することができ大変うれしく思っております。先生方との懐かしい再会や新しい出会いを楽しみに感じている自分の中に、不慣れな勤務先に対する不安も少なからずありました。そんな気持ちを抱きつつ16年ぶりに翔陽高校の教員として正門

会のうちに執り行うことができませんでした。ご来賓の皆様からは、本校のこれまでの歩みへの温かいお言葉と次への激励をいただき、教職員一同、改めて身の引き締まる思いを抱きました。生徒代表で挨拶をした生徒会長は「恵まれた教育環境の中で高校生活が送れるのは卒業生や地域の皆様の支えがあったこそ。これまでの歴史と伝統を引き継ぎ新たな益田翔陽高校を築いていく」と語ってくれました。式典に続き、本校の校歌を作詞してくださった益田市名誉市民でもある脚本家・田淵久美子様をお迎えし、「きみだけの道」と題した記念講演会を開催いたしました。自分を大切にし、自らの人生を切り拓く力の大切さを語られたその講演は、生徒たちにとって大きな刺激となり、将来への意識を一層高める機会となりました。後半には代表生徒四名とのトークセッションも行われ、田淵様と生徒たちが夢や将来への思いを生き生きと語り合う姿に、会場は大いに盛り

り上がりました。さらに、創立20周年記念事業として、教育環境の充実を図るためマイクロバスの更新や学校入口への広告掲示板の設置を進めております。加えて、「記念翔陽祭」として10月の体育祭、11月の文化祭を記念事業として実施するほか、本校の歩みを振り返る記念誌の発行も予定しております。これまでの20年の歴史を礎として、新たな未来へと歩みを進める契機となるものです。これらの事業は、同窓会の皆様をはじめ多くの方々のご支援があつてこそ実現できるものであり、心より御礼申し上げます。

本年度の学校経営方針は、「挑戦し失敗を恐れない、一歩踏み出す学校へ」といたしました。変化の激しい社会の中で求められるのは、未知の課題に対して主体的に向き合い、試行錯誤を重ねながら解決へと導く力です。そのためには、失敗を恐れず挑戦する姿勢を育むことが不可欠です。本校では、生

をしているところです。

私は「翔陽」という言葉から「輝く未来に向けて駆け上っていく姿」を思い浮かべます。本校で学んだ生徒たちが学校生活で様々な経験をし、将来に希望をもちながら、時には不安を抱えその不安を消し去るために努力をかさね3年間という学びを終え旅立っていく姿がそれと重なります。

今やるのか、後回しにするのか。参加するのかもしれないのか。自分で決めるのか、人のまねをするのかなど、高校での3年間では多くの「選択の場」があります。その選択をしたのちの自分がどう感じるのか、「未見の我」のた

徒一人ひとりが安心して挑戦できる環境を整え、小さな一歩を積み重ねながら自らの可能性を広げていく教育を推進してまいります。

創立20周年という節目を迎えた今、本校は新たなスタートラインに立っております。この歩みは、これまで同様、生徒・教職員・PTA・同窓会・翔陽会の皆様や地域の方々との強い絆の中でこそ実現できるものであります。生徒たちがそれぞれの「きみだけの道」を力強く歩み、社会に貢献できる人材として成長できるよう、教職員一同、心一つにして翔陽高校のさらなる発展に取り組んでまいります。

今後とも、本校の発展に対し変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。同窓会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。

めにとの選択をするのか。生徒たちは悩みながら選択を日々続けていることでしょう。そんな生徒たちに教員も寄り添いながら生徒とともに成長させていたでいております。高校生活で努力を重ねた生徒たち自身が、将来出会う未来の自分自身に感謝される今を過ごし、立派な同窓会の一員となることを目指し教員としてかわつていく覚悟です。

最後になりましたが、同窓生の皆様のみますますのご健勝とご活躍を祈念しております。

令和7年度 益田翔陽高校同窓会 事業報告

日 時	業 務 内 容	会 場	日 時	業 務 内 容	会 場
令和7年 4月 3日	18:30~ 第1回理事・役員会 令和7年度定例総会開催(案)、会則改定(案)、役員改選(案)	赤陵会館会議室	9月25日	18:30~ 第4回理事・役員会 親睦ゴルフコンペについて、新役制担当	赤陵会館会議室
4月 9日	10:00~ 令和7年度入学式	翔陽高校体育館	10月 9日	9:00~ 翔陽祭 (体育祭)	翔陽高校グラウンド
4月10日	10:00~ 監査会	赤陵会館会議室	11月14日	9:00~ 翔陽祭 (文化祭)	翔 陽 高 校
4月21日	18:30~ 第1回役員会 6年度報告・7年度案、役員改選(案)	赤陵会館会議室	11月15日	9:00~ 翔陽祭 (文化祭)	翔陽高校体育館
5月 1日	18:30~ 創立20周年第1回実行委員会	翔陽高校会議室	令和8年 1月14日	18:30~ 定例総会顔合わせ会	赤陵会館会議室
5月 8日	18:30~ 第2回理事会 6年度報告・7年度案、役員改選(案)	赤陵会館会議室	1月15日	18:30~ 創立20周年第3回実行委員会	翔陽高校会議室
6月 7日	14:00~ 定例総会事前準備	赤陵会館会議室	2月 7日	13:00~ 課題研究発表会	グ ラ ン ト ワ
6月 8日	9:30~ 令和7年度定例総会	サンパレス益田	2月 8日	16:30~ 結成大会	サンパレス益田
7月11日	18:30~ 第3回理事・役員会 総会の反省、新役制担当、親睦ゴルフコンペについて	赤陵会館会議室	2月 8日	17:30~ 第5回理事・役員会 令和8年度定例総会について(案)	サンパレス益田
8月25日	18:30~ 創立20周年第2回実行委員会	翔陽高校会議室	2月27日	10:00~ 第18回同窓会入会式 (121名 入会)	翔陽高校体育館
9月 7日	10:00~ 関西支部総会	ホテルヴィスキオ尼崎	3月 1日	9:30~ 令和7年度卒業式	翔陽高校体育館
9月17日	11:00~ 令和7年度翔陽高校助成 目録贈呈	翔陽高校校長室			

令和7年度 同窓会収支報告書

(令和7年4月1日～令和8年3月31日まで)

〈収入の部〉

単位：円

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備 考
1) 会費	1,608,000	1,608,000	0	令和6年度卒業生@12,000円×134名
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	832	2,942	2,110	貯金利息等
4) 寄付金収入	0	0	0	
5) 繰越金	962,168	962,168	0	
収 入 合 計	2,571,000	2,573,110	2,110	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備 考
1 事業費	1,090,200	1,069,800	△ 20,400	
1) 組織強化費	240,000	233,000	△ 7,000	支部総会・旅費助成、総会前夜祭助成
2) 入会記念費	365,200	363,000	△ 2,200	卒業証書ホルダー・同窓会の葉
3) 会報印刷費	55,000	63,800	8,800	会報180部
4) 母校助成費	400,000	400,000	0	
5) 慶弔費	30,000	10,000	△ 20,000	祝儀・香典
6) 寄付金	0	0	0	
2 事務(管理)費	134,800	116,785	△ 18,015	
1) 会議費	10,000	0	△ 10,000	理事会・役員会
2) 役務費	45,000	45,000	0	監査・事務局手当
3) 需要費	70,000	69,157	△ 843	HPホスティングサービス、事務用品費
4) 雑費	9,800	2,628	△ 7,172	郵送代・振込手数料ほか
〔(1+2)支出計〕	1,225,000	1,186,585	△ 38,415	
『収支差額』	1,346,000	1,386,525	40,525	
3 特定資産取得支出	300,000	300,000	0	
1) 周年事業引当支出	300,000	300,000	0	R 8 年度 20周年記念事業費引当
2) 会活動引当支出	0	0	0	
4 予備費支出	1,046,000	0	△ 1,046,000	
1) 予備費支出	1,046,000	0	△ 1,046,000	
支 出 合 計	2,571,000	1,486,585	△ 1,084,415	

単位：円

収支差引額 1,086,525	収入額 2,573,110 - 支出額 1,486,585
-----------------	-------------------------------

単位：円

特定資産	3,514,490	島根農協益田中央支店	定期預金 No. 12672424
	1,502,335	島根農協益田中央支店	定期預金 No. 11072571
	300,000	島根農協益田中央支店	定期預金 No. 14509494

令和 8 年度 事業計画（案）

益 田 翔 陽 高 校 同 窓 会	
本 部	○ 総会の開催（毎年6月） ○ 総会開催助成（45才期当番実行委員会へ） ○ 理事会 ○ 役員会（正副会長会） ○ 会報の発行 ○ 入会式（入会記念品の贈呈、入会の栞の配布） ○ 支部組織強化対策 ○ 母校助成 ○ 母校が求める事業への参加 （入学式、体育祭、翔陽祭、課題研究発表会、卒業式、20周年記念式典） ○ 母校20周年実行委員会 ○ その他

令和 8 年度 同窓会予算書（案）

（令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月31日まで）

〈収入の部〉

単位：円

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A－B)	備 考
1) 会費	1,452,000	1,608,000	△ 156,000	令和7年度卒業生@12,000円×121名
2) 特定資産取崩収入	300,000	0	300,000	20周年記念事業費積立金
3) 雑収入	2,475	832	1,643	預金利息等
4) 寄付金収入	0	0		
5) 繰越金	1,086,525	962,168	124,357	
収 入 合 計	2,841,000	2,571,000	270,000	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A－B)	備 考
1 事業費	1,424,800	1,090,200	334,600	
1) 組織強化費	240,000	240,000	0	関東支部総会助成、前夜祭助成
2) 入会記念費	341,000	365,200	△ 24,200	卒業証書ホルダー・同窓会の栞 111名
3) 会報印刷費	63,800	55,000	8,800	会報、資料印刷
4) 母校助成費	400,000	400,000	0	母校助成金
5) 慶弔費	30,000	30,000	0	慶弔
6) 寄付金	350,000	0	350,000	20周年記念事業母校寄付、市立図書館図書寄贈
2 事務（管理）費	165,200	134,800	30,400	
1) 会議費	10,000	10,000	0	理事会、役員会
2) 役務費	75,000	45,000	30,000	監査・事務局手当
3) 需要費	70,000	70,000	0	HPホスティングサービス、事務用品費
4) 雑費	10,200	9,800	400	郵送代、振込手数料ほか
〔(1+2)支出計〕	1,590,000	1,225,000	365,000	
『収支差額』	1,251,000	1,346,000	△ 95,000	
3 特定資産取得支出	100,000	300,000	△ 200,000	
1) 周年行事引当支出	100,000	300,000	△ 200,000	周年記念事業費として引当金積み立て
2) 会活動引当支出	0	0	0	
4 予備費支出	1,151,000	1,046,000	105,000	
1) 予備費支出	1,151,000	1,046,000	105,000	
支 出 合 計	2,841,000	2,571,000	270,000	

【特別会計】 令和 8 年度同窓会定例総会対策費予算書

〈収入の部〉

単位：円

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A－B)	備 考
総会対策費	350,000	350,000	0	R 8 年度定例総会実行委員会より
収 支 合 計	350,000	350,000	0	

〈支出の部〉

単位：円

科 目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A－B)	備 考
総会対策費	350,000	350,000	0	R 9 年度定例総会実行委員会へ
支 出 合 計	350,000	350,000	0	

令和8年度「益田翔陽高等学校同窓会」
定例総会プログラムと き：令和8年6月14日
ところ：サンパレス益田

- ◎ 受 付 9:30 ~ 10:00 1 F ロビー
◎ 定例総会 10:10 ~ 11:00 2 F 総会会場
- 開 会
 - 同窓会長挨拶
 - 総会実行委員長挨拶
 - 学校長挨拶
 - 祝辞・招待者紹介、祝電披露
 - 議長団選出・議事手続
 - 議 事
- 第1号議案 令和7年度 事業報告
第2号議案 令和7年度 収支決算報告
第3号議案 同窓会会則改定（案）
第4号議案 令和8年度 事業計画（案）
第5号議案 令和8年度 収支予算（案）
第6号議案 役員欠員に伴う補充役員の選定（案）
第7号議案 その他
- 閉 会

----- 会場移動・休憩 -----

- ◎ 祝賀懇親会受付 11:10 1 F ロビー
◎ 祝賀懇親会 12:00 ~ 15:00 2 F 懇親会会場
- 開 宴
 - 同窓会長挨拶
 - 実行委員長挨拶
 - 来賓挨拶
 - 鏡開き・乾杯
 - 喜寿表敬者記念品贈呈式
 - アトラクション
 - 閉 宴
- ◎ 引継ぎ式 15:00 ~ 15:30 2 F 懇親会会場
- 開 式
 - 校歌斉唱
 - 同窓会旗・ハッピー引継ぎ
 - 次期当番期生（平成11年度卒〔平成12年3月卒業〕）代表挨拶
 - 万歳三唱
 - 閉 式

◆令和8年度 益田翔陽高校同窓会◆
企画調整会議役員名簿

役 職 名	氏 名	卒 業 科
委 員 長	柳 井 克 典	環境土木科
副 委 員 長	中 村 陽 介	電 気 科
	島 地 隆 広	電 気 科
部 門 長	広報資金	山 根 慎 平 環境土木科
	総 会	森 藤 学 食品科学科
	懇 親 会	齋 藤 淳 子 食品科学科
	アトラクション	渡 辺 直 也 電 気 科
副 部 門 長	広報資金	中 村 梨 紗 子 総 合 学 科
	総 会	玉 置 修 平 生物生産工学科
		島 地 隆 広 電 気 科
	懇 親 会	時 田 光 総 合 学 科
		大 畑 友 美 総 合 学 科
	アトラクション	中 村 陽 介 電 気 科
事 務 局 長	村 上 健 次 郎	環境土木科
会 計 長	平 原 敦 子	総 合 学 科

令和8年度(第18回) 益田翔陽同窓会定例総会

◆基本構想◆

- 1、本年度の益田翔陽高等学校同窓会定例総会を6月14日（日）に開催する。
- 2、この定例総会は、平成10年度（平成11年3月卒業）の当番期生として構成する。「令和8年度、益田翔陽高等学校定例総会実行委員会」が主催する。
- 3、定例総会及び、祝賀懇親会は、サンパレス益田を会場として実施する。
- 4、総会の開催資金は、祝賀懇親会出席者の会費および協賛金により調達する。
- 5、本年度総会引継式の席上で、次年度総会に関する一切の権限を次期当番期生に引き継ぐ。

◆実行計画大綱◆

1、総会日程及び会場

	日 程		会 場
午 前 の 部	9 : 3 0 ~ 1 0 : 0 0	総 会 受 付 会	サンパレス益田
	1 0 : 1 0 ~ 1 1 : 0 0	定 例 総 会	
移 動 等			
午 後 の 部	1 1 : 1 0 ~ 1 1 : 5 0	祝 賀 懇 親 会 受 付 会	サンパレス益田
	1 2 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0	祝 賀 懇 親 会	
	1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 3 0	引 継 ぎ 式	

2、総会スローガン

（メイン）『再会満開』（サブ）「～思い出が再び色づくとき～」

3、定例総会の参加動員計画

- ①会員の総会への参加が多く得られるよう、ポスター宣伝に努める。
益田市広報を使用して、広く周知する。
SNSを利用した周知を行う。
- ②総会の案内者
同窓市議会議員、同窓会関係者、歴代実行委員長、当番期各科の恩師、同窓会会員で喜寿を迎えられた方
- ③総会の招待者（来賓）
県議会議員、益田市長、益田市議会議長、益田市教育長、翔陽高校校長、翔陽会理事長、翔陽高校PTA会長、翔陽高校教頭、前実行委員長
- ④喜寿（77歳）を迎えられた総会出席者の先輩に「表敬記念品」を贈呈する。
※昭和43年3月卒業生で益田市内在住（卒業生名簿より）の方に案内する。

実行委員長

（平成11年卒 益田産業高校
環境土木科 卒業）

柳 井 克 典



例総会開催にあたり、大畑同窓会長をはじめ本会役員の皆様、様々な方たちで力添えを賜りました関係者の皆様には心よりお礼と感謝を申し上げます。

世界情勢が大きく変化し、先行きの見えにくい状況が続いております。また、数年前にはコロナ渦という状況で同窓会を思うように開催できない時期もあり、先輩方におかれましては大変悔しい思いと多くのご苦労があったことと思います。そのような中であつて、我々の世代までバトンを繋いでくださいましたこと、当番期生として心から嬉しく思っています。

令和8年度益田翔陽高校同窓会メインスローガンは『再会満開』、サブスローガンは『思い出が再び色づくとき』を掲げさせていただきます。

私たちがこのスローガンに込めた思いとして、長い年月を経て再び集うことができるご縁の尊さと、その喜びが満開の花のように豊かに広がる情景を重ねています。学生時代をともに過ごした仲間が、それぞれの道で経験を積み、歳月を重ねたのちに再び顔を合わせること、何にも代えがたい喜びであり、感慨深いものです。そうした再会のひとときにおいて、懐かしい思い出や変わらぬ絆がよみがえり、新たなつながりとして改めて花開く。そのような思いを込めていきます。昨年私たちは次期当番期生としてこの同窓会に参加させていただきました。益田翔陽高校同窓会を通じて、世代を超えて多くの人と人がご縁をつなぎ、感謝と喜びを感じていただけるような同窓会を創り上げていきたいと思います。

そして、これまで諸先輩方が長きにわたって築き上げてこられた母校と同窓会の伝統の重みを改めて実感するとともに、その志を受け継ぎ、次の世代へと確かに引き継いでいくことが、私たちの責務であると考えています。今後その伝統を大切に守りながら、時代に即した形で同窓会活動を継続、発展させてまいりたいと存じます。

結びに、益田翔陽高校同窓会の益々のご繁栄と、生徒の皆様、会員の皆様方、同窓会を通じてお世話になりました方々のご健勝とご多幸を祈念するとともに、今日一日が未来につながる多くのご縁を紡ぎ、感謝と喜びを感じていただけるような同窓会になることを願って私からの挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございます。

母校は今……

翔陽高校近況報告

電気科 伊藤 嘉 紀

(平成28年3月 電気科卒)

令和8年3月卒業生121名が巣立として、今年度益田翔陽高等学校21期生として、電子機械科21名、電気科26名、生物環境工学科30名、総合学科29名の計106名の新入生を迎え、新年度がスタートしました。

昨年度は創立20周年を迎える年となり、学校の教育活動に対して在校生は積極的に取り組み、個人の成長や学校の諸活動に努めた一年となりました。

○令和7年度のあゆみ○

【4月】

8日(火) 1学期始業式・身だしなみ検査

9日(水) 入学式・対面式・入寮式

10日(木) 1年生オリエンテーション①

11日(金) 写真撮影

29日(土) 1年生オリエンテーション②

【5月】

緑の市

10日(土) PTA総会

中間試験(～13日)

13日(火) 総体壮行式

16日(金) 1年遠足

21日(水) 生徒会・農ク・家ク合同総会

農クふれあい事業(いも苗植え)

総体激励句問(短縮)31日

29日(木) 県総体・前期(～1日)

【6月】

5日(木) 県総体・後期(～7日)

8日(日) 危険物取扱者試験①

2級電気工事施工

8日(日) 翔陽高校同窓会定例総会

(サンパレス)

9日(月) 総体報告会

11日(水) スマホ安全教室

12日(木) 農ク意見発表校内大会

13日(金) 介護技術コンテスト県大会(益田)

23日(月) 期末試験(～27日)

25日(水) 振休(5/10)

28日(金) 夕方ふれあい市①

【7月】

2日(水) 避難訓練①

4日(金) 県内企業見学

農ク意見発表県大会(矢上)

5日(土) 県立高校益田コンソーシアム

8日(火) 校内球技大会

9日(水) 農クプロジェクト発表県大会入権セ

10日(木) 県高校弦楽フェスティバル(浜田)

11日(金) ものづくりコンテスト溶接

18日(金) 作業県大会(西部技術校)

22日(火) 1学期終業式

24日(木) 西部農業後継者育成確保連絡協議会

25日(金) 農ク鑑定競技県大会(出雲)

総文祭かがわ大会

29日(火) オープンスクール①学科

【8月】

1日(金) 夕方ふれあい市②

2日(土) 中国高校総体

6日(水) 体操競技役員(～5日)(浜田)

7日(木) 翔陽していへようこそ(A科)

23日(土) 中国大会(島根県西部技術校)

25日(月) PTA美化活動・寮PTA清掃

28日(木) オープンスクール(～26日)

29日(金) 2学期始業式

【9月】

4日(木) 農林大学校訪問(A1)

3日(水) 2年生インターシップ(～5日)

16日(火) 就職試験開始

24日(水) 中間試験(～26日)

27日(土) オープンスクール③

【10月】

4日(土) 家クうずめ飯交流会(浜集会所)

9日(木) 体育祭

14日(火) 2年県外研修(～16日)

22日(水) 農業クラブ全国大会

(西関東)23日

25日(土) 産業教育交流フェア

(福島)26日

27日(月) 農クふれあい事業(いも収穫)

29日(水) 県家ク研究発表大会(出雲)

30日(木) 福祉実習(G科)31日

【11月】

14日(金) 翔陽祭(～15日)

27日(木) 期末試験(～2日)

【12月】

3日(水) 人権同和教育講演会

5日(金) 保育実践地域活動(G3)

8日(月) 立会演説会・生徒会

農業クラブ・家庭クラブ合同選挙

いのち・愛・人権展(1年)

9日(火) 2年生進路ガイダンス

11日(木) 夕方ふれあい市③

12日(金) 球技大会

16日(火) アスリート派遣事業

18日(木) 建築産業企業説明会

23日(火) 生物環境工学科課題研究発表会

2学期終業式

【1月】

8日(木) 3学期始業式

生徒会・農業クラブ

家庭クラブ合同総会②

電気科課題研究発表会

26日(月) 3年期末試験(～30日)

【2月】

2日(月) 電子機械科課題研究発表会

4日(水) 地元企業セミナー(1・2年)

5日(木) 県福祉科生徒体験発表会(通摩)

7日(土) 課題研究発表会(グラントワ)

10日(火) しまね探究フェスタ(島大)

19日(木) 期末試験(～25日)

27日(金) 同窓会入会式・表彰式

【3月】

1日(日) 卒業式

4日(水) 一般選抜・学力・面接試験

10日(火) 校内球技大会

16日(月) 生物環境工学科課題研究計画発表会

24日(火) 3学期終業式・離任任式

体育祭

10月9日(木) 『翔 TIME』翔陽伝

説2025』のスローガンのもと体育祭が開催されました。昨年度より実施された部活対抗リレーでは、それぞれの部活にあった、バトンを準備し、盛り上がりがありました。また、応援・ダンスパフォーマンスは、各分団が趣向を凝らしたものを披露し、昨年度以上に熱気を帯びた体育祭となりました。

翔陽祭は昨年度と同じように2日間での開催となりました。1日目は準備や弦楽部や吹奏楽部の演奏会などが行われました。2日目は、生徒会ステージやPTAテント村、各クラスの模擬店・催しなどがあつた昨年度以上に盛り上がりしました。

翔陽祭

10月に開催された日本学校農業クラブ全国大会(南関東大会) 農業鑑定競技会で、農業鑑定競技「農業土木」分野、「食品科学」分野でそれぞれ1名が優秀賞を受賞しました。

【農業クラブ活動】

10月に実施された日本学校農業クラブ全国大会(南関東大会) 農業鑑定競技会で、農業鑑定競技「農業土木」分野、「食品科学」分野でそれぞれ1名が優秀賞を受賞しました。

【家庭クラブ活動】

10月に開催された、島根県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会にて最優秀賞を受賞し、今年7月に岐阜県で開催される全国家庭クラブ研究発表大会で発表をします。

課題研究発表会

今年度も課題研究発表会がグラントワで行われました。3年生にとっては、各科1年間の集大成となる発表を、全校生徒、保護者の方、地域の皆様の前で行う貴重な機会となりました。中でも数年ぶりに総合学科によるフアッションショーが行われ、会場を大いに盛り上げました。多くの方々にご来場いただきありがとうございました。

発表内容は、生徒一人ひとりが主体的に取り組んだ成果が発表されました。地域の関係機関と連携した課題研究も多く見られ、地域とのつながりを活かした研究が年々充実しており学びの深まりを感じing発表会となりました。

生徒の活躍

【部活動】

陸上競技部・柔道部・弓道部(男子・女子)・女子ソフトテニス部・も

のづくり研究部(電気系)の電気工事部門と電子回路組立部門で中国大会、中国総体や新人戦に出場し活躍しました。

後記

今年度は、5月8日に創立20周年の記念式典が開催されたことをはじめとし、体育祭(10/7)、翔陽祭(11/13・14)も20周年記念行事としての開催を予定しています。卒業生の皆様にはこの機会に母校を訪れていただき生徒の活動の様子をご覧いただければとお待ちしております。

同窓生の皆様におかれましては、引き続き母校への温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上、簡単ではございますが、母校、益田翔陽高等学校の近況報告とさせていただきます。